

福岡空港の総合的な調査に係る PI（ステップ2）に  
寄せられたご意見とそれに対する考え方

平成18年10月  
福岡空港調査連絡調整会議

## はじめに

福岡空港については、国、福岡県、福岡市が連携・協力して平成15年度から将来の混雑問題等への対応策を検討する「総合的な調査」を実施しております。

この調査にあたっては、基本的なところから段階を踏んで検討を進めることとしており、検討のステップに対応して情報提供とそれに対する意見収集を行うパブリック・インボルブメント（以下「P I」と略す）を実施することとしております。この最初のステップとして、昨年度は福岡空港の総合的な調査に係るP I（ステップ1）を実施しました。

今回実施いたしましたP I（ステップ2）では、新たな取り組みとしてP I（ステップ1）で皆様からいただいたご意見などを踏まえ、地域情報誌での広報、県外（佐賀県）でのオープンハウスの開催、大学等でのパネル展示の実施など、その内容を充実させたところです。

今回のステップでは、7月10日から「地域の将来像と福岡空港の役割」や「将来の航空需要の予測」についての情報を提供し、9月末までに1,300名を超える方から約3,900件のご意見が寄せられました。

福岡空港の総合的な調査に係るP I実施計画（ステップ2）に基づき、寄せられたご意見を集約し、それに対する福岡空港調査連絡調整会議の考え方をとりまとめましたので公表します。

なお、今回の「総合的な調査」に係るP I（ステップ2）に皆様から寄せられたすべてのご意見につきましては、福岡空港調査連絡調整会議ホームページ

<http://www.fukuokakuko-chosa.org/>にてご覧いただけます。

## 1. 今回実施したPIの概要

	手法	実施回数 実施箇所	実施場所・実施日	参加者又は 資料配布数
周知 広報	新聞広告	5回	5紙（読売、朝日、毎日、西日本、日経）、 半5段広告 6/27～7/7 各紙1回	—
	雑誌広告	2回	2誌 アバンティ福岡 1/2 広告（7/20 発行） あんふあん 1/3 広告（7/7 発行）	アバンティ福岡：14.5 万部 あんふあん：4.7 万部
	ラジオ広告	40回	2局（FM福岡、RKB）20秒広告 7/6～8/3（平日20日間） 1本/日×20日間×2局	—
	ラジオ放送	8回	1局（LOVE-FM）2～3分 7/3～7/6、7/10～7/13 1本/日 （英語、中国語、韓国語、フランス語）	—
	チラシ配布	—	・20箇所（福岡空港や福岡県内及び県外（佐賀県）の主要駅等）での街頭配布（6/27～7/1、7/7） ・県内市町村、中学校・高等学校・大学等配布	60,000部
	ポスター配布	—	・県内市町村、中学校・高等学校・大学等に配布	1,100部
	行政だより 配布等	—	・福岡県だより1回（7/1発行） ・ふくおか市政だより1回（6/15発行） ・J:COM福岡、FCV 10分広告 8/11～8/17、3回/日×7日間×2局	福岡県だより：約200万部 市政だより：約70万部 J:COM、FCV：52万世帯
	国際交流機 関広報誌	—	・こくさいひろば（（財）福岡県国際交流センター）1回（7月発行） ・レインボー（（財）福岡国際交流協会） 1回（7月発行）	こくさいひろば：英語 4,500部、中国語2,000 部、韓国語2,000部 レインボー：英語5,000部、 中国語1,500部、韓国語 1,500部
PIレ ポートに 関する 情報提供 ・意見 収集	PIレポート	—	・20箇所（福岡空港や福岡県内及び県外（佐賀県）の主要駅等）での街頭配布（7/10～7/16） ・県内市町村、中学校・高等学校・大学等配布 ・インフォメーションコーナー等情報提供窓口への設置 ・ホームページ掲載（7/10～）※英語版も掲載	60,000部  —
	シンポジウム	1回	○エルガーラホール（7/31）	370人
	インフォメーション コーナー	4箇所	○福岡空港（7/10～） ○福岡県庁（7/10～） ○福岡市役所（7/10～） ○九州地方整備局 博多港湾空港整備事務所（8/1～）	5,373人 （福岡空港 7/10～ 9/30）
	ホームページ	—	・PI（ステップ2）の周知広報開始（6/27～）	7,592アクセス （6/27～9/30）
	説明会	5回	○北九州国際会議場（7/25） ○アタロス福岡（7/26） ○のがみプレジデントホテル（8/1） ○くるみホール（8/9） ○まどかピア（8/10）	43人 42人 57人 54人 47人

手法	実施回数 実施箇所	実施場所・実施日	参加者又は 資料配布数	
P I レ ポ ー ト に 関 す る 情 報 提 供 ・ 意 見 収 集	懇談会	12回 ○空港関連事業者 第1回(7/21 福岡空港ビル) 9団体13人参加 第2回(7/21 福岡空港ビル) 8団体10人参加 第3回(7/24 福岡市役所) 10団体10人参加 第4回(8/2 福岡市役所) 9団体11人参加 第5回(8/3 福岡市役所) 7団体8人参加 第6回(8/3 福岡市役所) 12団体14人参加 ○空港周辺住民等 第1回(7/18 福岡空港事務所) 19人参加 第2回(7/19 地元集会所) 22人参加 第3回(8/2 地元集会所) 25人参加 第4回(8/8 地元集会所) 14人参加 ○周辺自治体(8/2 福岡市役所) 12自治体1団体14人参加 ○市民団体(7/24 福岡市役所) 11団体15人参加	参加者175人	
	オープンハウス	7箇所(2日/箇所)	○三越ライオン広場 (7/20~7/21、福岡市中央区) ○イオンショッピングタウン大和 (7/22~7/23、佐賀県佐賀市大和町) ○リバーウォーク北九州 (7/24~7/25、北九州市小倉北区) ○イオンショッピングタウン穂波 (7/29~7/30、飯塚市枝国) ○THE MALL 春日 (7/29~7/30、春日市春日) ○ゆめタウン久留米 (8/10~8/11、久留米市新合川) ○福岡東サティ (9/16~9/17、糟屋郡志免町)	来場者384人 配布数360部 来場者251人 配布数556部 来場者185人 配布数805部 来場者159人 配布数1,120部 来場者395人 配布数1,285部 来場者325人 配布数1,315部 来場者226人 配布数992部
	福岡空港見学会	4回	第1回(8/5) 33人参加、第2回(8/6) 31人参加、第3回(8/26) 27人参加、第4回(8/27) 31人参加	参加者122人
	パネル展示	9箇所	○福岡大学(7/10~14) 配布数45部 ○北九州市立大学(7/10~21) 配布数37部 ○九州産業大学(7/18~25) 配布数48部 ○福岡市東区役所(9/4~8) ○福岡市城南区役所(9/4~8) ○福岡市博多区役所(9/11~15) ○福岡市早良区役所(9/11~15) ○福岡市西区役所(9/19~22) ○福岡市南区役所(9/25~29)	配布数231部 101部
	グループ ヒアリング	4回	○中央市民センター(7/14) 2回 ○あいれふ講堂(7/15) 2回	48人
	その他説明会	11回	○学校等(7/12、9/12) 2回 ○その他(8/18、21、22、23、9/2、9/7、9/9、9/14、9/22) 9回	170人 343人

## 2. 意見記入はがき等により寄せられたご意見

(1) ご意見を寄せられた方の人数：1,344人

(2) ご意見を寄せられた方の属性

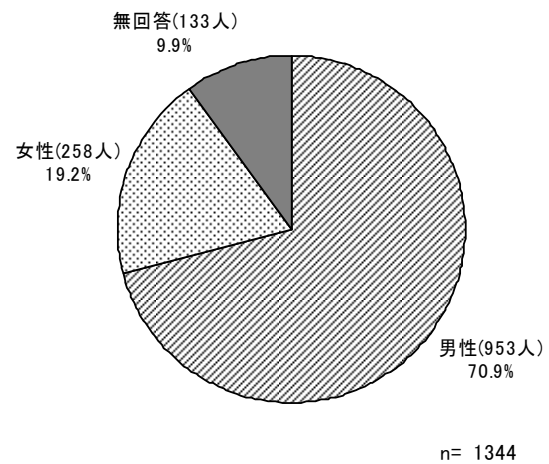
### ●住所

- 福岡県にお住まいの方が1,080人と最も多く、ついで、東京都や神奈川県など福岡空港の旅客の多い地域やオープンハウスが開催された佐賀県にお住まいの方が多くなっています。

### ●性別

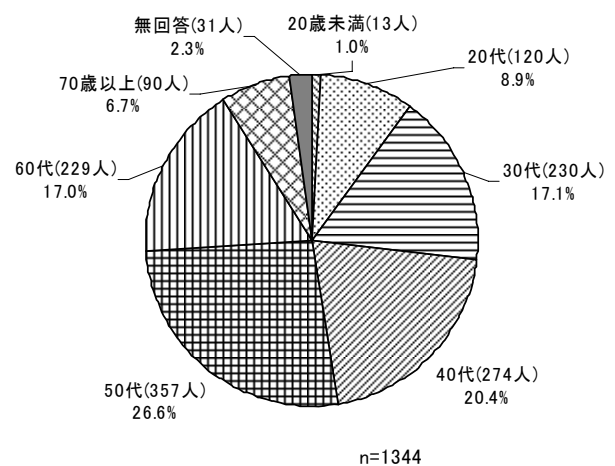
- 男性から約7割、女性から約2割のご意見が寄せられております。

都道府県	回答数
山形県	3
茨城県	3
栃木県	1
埼玉県	18
千葉県	16
東京都	52
神奈川県	25
富山県	1
山梨県	1
静岡県	1
愛知県	6
大阪府	9
兵庫県	6
奈良県	3
鳥取県	1
島根県	2
山口県	17
福岡県	1080
佐賀県	34
長崎県	7
熊本県	10
大分県	11
宮崎県	3
鹿児島県	6
沖縄県	5
無回答	23
計	1344



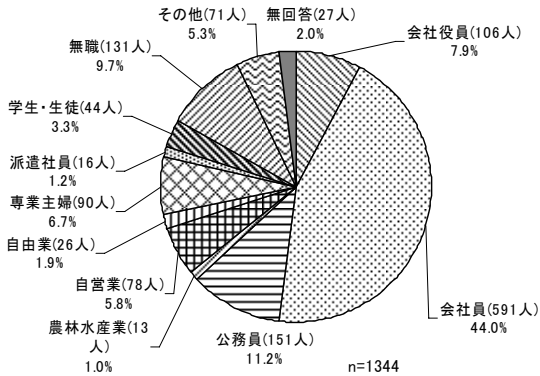
### ●年齢

- 50代の割合が最も高く(26.6%)、40代から約2割、30代、60代から約1.5割のご意見が寄せられております。また、20代、70代以上からも一定の割合でご意見が寄せられております。



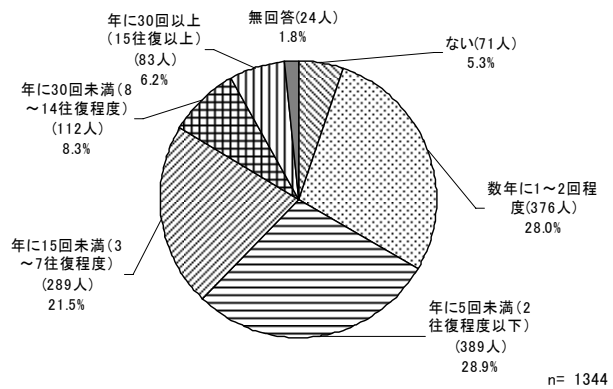
●職業

- ・ 会社員、会社役員及び公務員といった比較的空港をよく利用する方を中心に主婦の方含め、幅広くご意見が寄せられています。



●福岡空港からの航空機利用状況

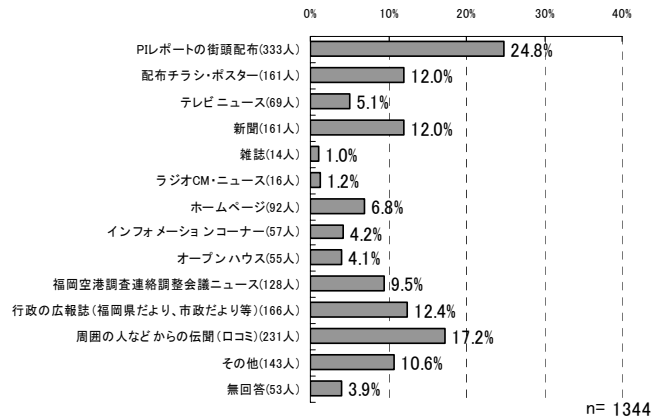
- ・ 数年に1～2回から年に15回未満(3～7往復程度)の方からのご意見が全体の約8割を占めています。また、利用されない方や年に30回以上利用される方からもご意見が寄せられています。



(3)意見記入はがき等各問の回答状況

問1. 今回のPI (ステップ2) が行われていることをどのような形でお知りになりましたか。

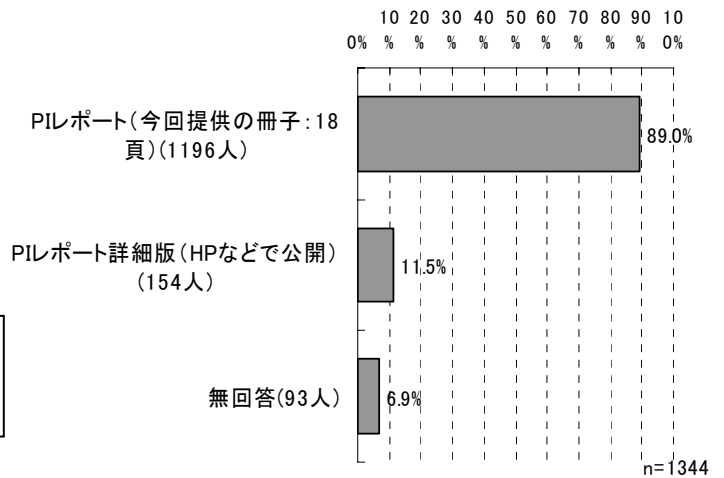
- ・ 伝聞なども含め多様なメディアを介してPIについて周知されております。



問2. PIレポートの文章や図表など表現の分かり易さやイベントの印象についてお尋ねします。

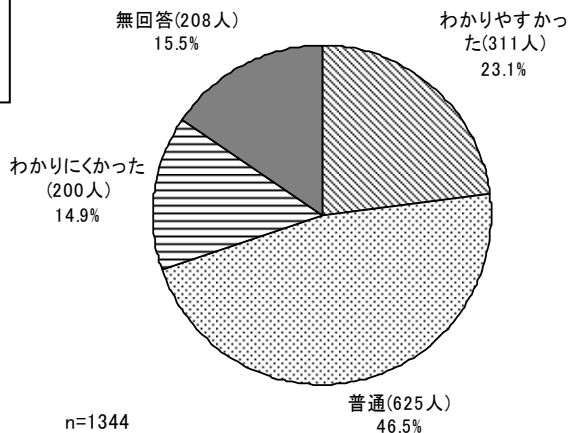
①どのPIレポートをお読みにになりましたか。

- ・ PIレポート(今回提供の冊子18頁)を読まれている方が約9割となっております。



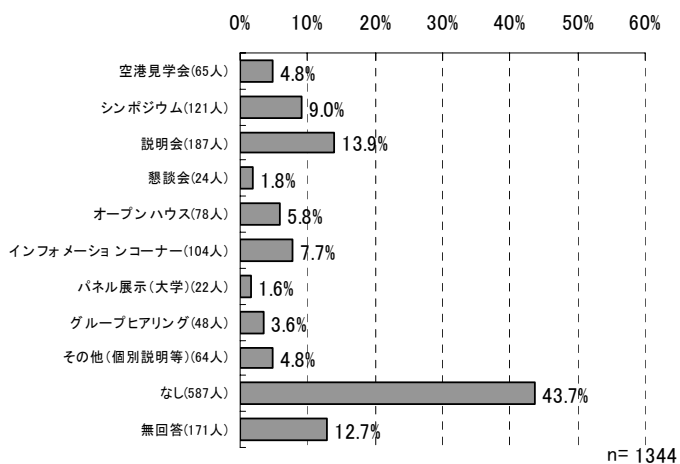
② P I レポートはわかりやすかったですか。

・ 「わかりやすかった」「普通」と答えた方が全体の約7割を占めております。



③ 参加した催しは何ですか。

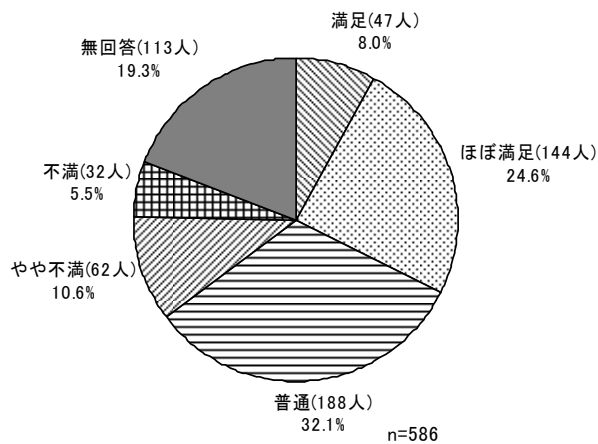
・ 意見をお寄せいただいた方の約4割の方が催しに参加されていない一方、約4割の方が何らかの催しに参加しております。



④ 参加した催しの印象はいかがでしたか。

(催しに参加した経験がある方 (586人) のみ回答)

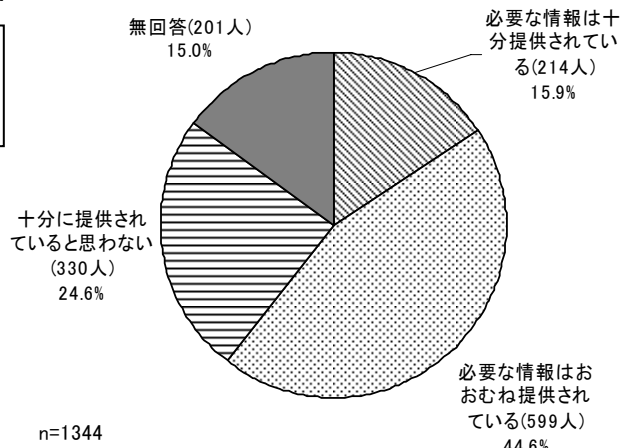
・ 「満足」「ほぼ満足」とされた方が全体の3割、普通まで加えると6割を超えております。



問3. ご提供したPIレポートについて必要な情報は提供されていましたか。

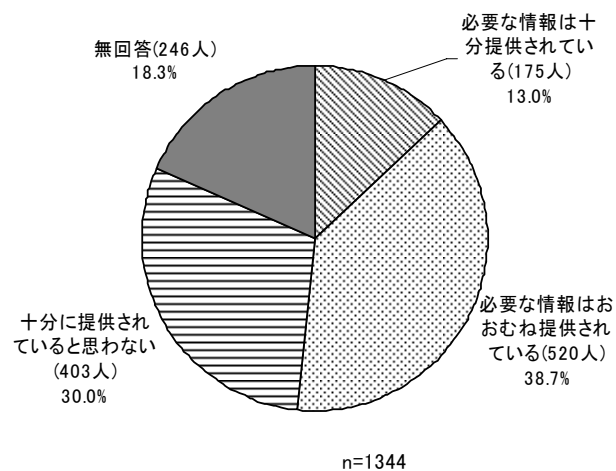
①地域の将来像と福岡空港の役割について

・ 「十分提供されている」「おおむね提供されている」とされた方が6割を超えております。



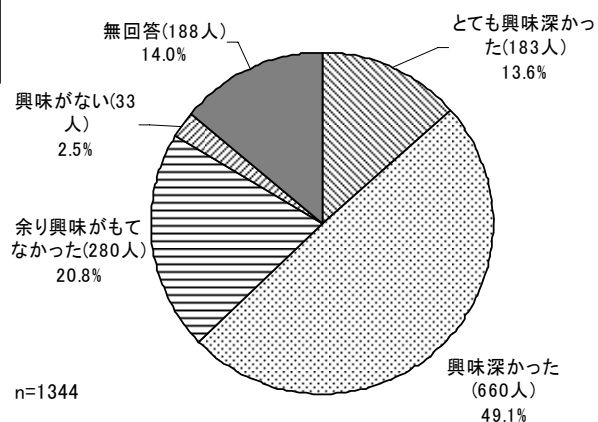
②将来の航空需要の予測について

・ 「十分提供されている」「おおむね提供されている」とされた方が5割を超えております。



問4. 今回提供したレポートの内容について、どのように感じましたか？

・ 「とても興味深かった」「興味深かった」とされた方が全体の6割を超えております。





#### (4) 記述意見等について

①地域の将来像と福岡空港の役割について、②将来の航空需要の予測について、及びその他ご意見や感想（意見記入はがき等の「その他」、自由な様式で寄せられたご意見及び説明会等での発言により寄せられたご意見）については、合計で3,888件のご意見が寄せられました。それらの意見については、内容ごとに同様な意見に整理した結果、7項目（「その他」を除く）となりました。

具体的には、今回のステップ2に係る項目は次のとおりです。

- ・ 「地域の将来像に関する意見」
- ・ 「福岡空港の役割に関する意見」
- ・ 「将来の航空需要予測に関する意見」
- ・ 「P Iに関する意見」

又、ステップ3以降に係る項目は次のとおりです。

- ・ 「有効活用方策など現空港に関する意見」
- ・ 「近隣空港との連携方策に関する意見」
- ・ 「現空港での滑走路増設や新空港建設に関する意見」

上記項目と「その他」に分類されます。

今回のステップ2に係わる項目のうち、「地域の将来像に関する意見」が435件、「福岡空港の役割に関する意見」が953件、「将来の航空需要予測に関する意見」が1,070件でした。また、「P Iに関する意見」が284件、ステップ3以降に関する意見が945件、その他が201件でした。

### 3. 意見に対する考え方

ステップ の区分	意見		意見に対する考え方		
	分類	概要			
ステップ 2	地域の将来像に関する意見	435 件	<p>これからの福岡・九州にとってアジアを中心とした海外とのつながりが重要であるとの意見、地方分権時代には福岡が九州のリーダーとなり役割が増す等の意見が多く寄せられました。一方、九州における福岡の一極集中を懸念する意見、国・地方の財政状況を懸念する意見、提示した将来像は地域の独自性が不足している等の意見も寄せられ、7つの将来像それぞれに対し、数多くの意見が寄せられました。</p> <p>(意見の構成)</p> <p>1.グローバル化</p> <p>アジアを中心とした海外と福岡を結ぶ国際ネットワークの重要性に関して数多くの意見がありました。また、福岡・九州の経済産業、交流等の様々な基盤強化に関する意見もありました。</p> <p>2.少子高齢化</p> <p>生産性の向上と交流人口の拡大に関する意見や、少子高齢化により将来の航空需要は減少するなど、少子高齢化と航空需要との関連に関する意見がありました。</p> <p>3.地方分権</p> <p>自立した地域の形成に関する意見や分権型社会に関する意見がありました。その中には、今後九州における福岡の役割が増していくとの意見や、道州制を見据えて考えるべきという意見、福岡一極集中を懸念する意見がありました。</p> <p>4.価値観の多様化</p> <p>モノの豊かさから心の豊かさへなど価値観の転換に関する意見がありました。その中には、東アジアとの関係等国際的な観点も考慮するべきとの意見がありました。</p> <p>5.IT化(高度情報化)</p> <p>今後IT化の進展で航空需要は伸びないのではないかなど、IT化と航空需要の関連に関する意見もありました。</p> <p>6.社会資本形成</p> <p>財政の健全化、高次都市機能の活用、効率的かつ効果的な社会資本形成に関する意見がありました。その中には、財政への不安や既存ストックの有効活用に関する意見もありました。</p> <p>7.環境重視</p> <p>地球環境や資源制約に関する意見や、循環型社会への対応に関する意見がありました。</p> <p>8.その他</p> <p>地域の将来像全般に関する意見や、地域の将来像の検討方法に関して意見がありました。</p>	<p>地域の将来像については、「地域の現状と課題」と「既存の将来ビジョン」から整理した論点について、具体的な取り組みを示しながら今後地域が目指すべき将来像を提示しPIの取り組みを進めた結果、数多くの意見が寄せられました。地域の将来像については、広く市民等の方々に情報が伝わり、その内容についても概ねの理解が得られたのではないかと考えています。なお、地域の将来像の各論点における主な意見に対する考え方については下記において説明しております。また、今後ともグローバル化、少子高齢化等、福岡・九州を取り巻く社会経済環境の変化にも十分注意を払っていく必要があると考えています。</p> <p>1.今後のアジア地域においては高い経済成長・国際観光客の伸びが予想されており、東アジアに対し地理的近接性を持つ福岡・九州にとって、アジア地域との関係が今まで以上に重要となると考えています。福岡はその拠点性を活かして九州の玄関口となり、増大する国際交流・国際物流を受け入れていくことが重要であると考えています。</p> <p>2.現在、国・地域において、子育て・医療等の労働生活環境面における抜本的な少子化対策が進められています。また、多彩な人材による生産性の維持向上や九州のもつ温かいホスピタリティを活かした交流人口の拡大等に取り組んでいます。そのため、今後の少子高齢化社会においても、国内外の交流拡大によって福岡・九州が活力を保っていくことが重要であると考えています。</p> <p>3.地方分権の進展により地域の自立が求められる中、福岡の持つ高次都市機能の活用によって九州全体の魅力を高めるなど、福岡が九州のけん引役になることが重要と考えています。また、九州のそれぞれの地域が、独自の魅力や競争力を養っていくことが重要であると考えています。</p> <p>4.人々の価値観がモノの豊かさから心の豊かさを重視する傾向に変化しており、福岡・九州は、豊かな自然・歴史・文化等の財産や国内外及び域内を結ぶ利便性の高い移動手段の活用により、バランスのとれた質の高い暮らしの実現を図っていくことが重要であると考えています。また、福岡・九州の持つ東アジアとの長い交流の歴史等を活かし、国内外を問わず人々の交流を拡大していくことが重要であると考えています。</p> <p>5.世界規模でのIT化が進む中、IT関連産業を活かした地域振興を図っていくことが重要であると考えています。また、近年、インターネットや電子メール等の急激な普及拡大の中でも、航空旅客は増加傾向にあります。その理由としては、IT化により企業の生産性の向上や個人旅行の拡大等が進んでいることが考えられます。</p> <p>6.厳しい財政状況の中でも地域が持続的に発展していくためには、効率的な行政システムへの移行による財政の健全化はもちろん、公共投資の「選択と集中」の考えのもと、民間活力の導入等も図りながら、福岡・九州は、福岡の拠点性を活かした戦略的な社会資本形成を行うことが重要であると考えています。</p> <p>7.地球規模の環境問題や資源制約等、環境重視の傾向が深まっていく中、福岡・九州は、都市の発展と環境への配慮が好循環した都市・地域を目指すことが必要です。また、福岡・九州には、環境に関する優れた技術や取組み等が蓄積しており、これらを活かして、東アジア地域を中心に国際貢献を行うことも重要であると考えています。</p> <p>8.福岡・九州が持つ地域性を踏まえた将来像の具体的な検討の過程は、PIレポート詳細版P11～P56に記載しています。</p>	
		福岡空港の役割に関する意見	953 件	<p>福岡空港は、九州の玄関口としてアジアを中心とした海外及び国内との交流を支えることが重要な役割であり、今後その役割の重要性は増すとの意見が多く出されました。また、福岡空港の持つアクセス利便性に関する意見、安全確保や環境影響の軽減に取り組む必要があるとする意見等、4つの役割について数多くの意見をいただきました。</p> <p>(意見の構成)</p> <p>1.海外・全国と福岡を結び相互交流の拡大を支える空港</p> <p>新規路線開設等による、国内航空ネットワークの拡充や東アジアを中心とした各地域への国際航空ネットワークの強化、さらにはハブ空港の取組みに関する意見がありました。</p> <p>2.サービス向上を促進し、航空需要を支える空港</p> <p>新規路線の開設や増便の促進、小型・多頻度化への対応とピーク時間帯における混雑解消や24時間化等、空港容量の確保に関する意見がありました。</p> <p>3.福岡の交通結節点機能を活かし、速く・安く・快適な移動を支える空港</p> <p>福岡空港の現状を踏まえ、空港アクセスの利便性の確保に関して数多くの意見がありました。</p> <p>4.地域と共存しながら、福岡・九州の自立的発展を支える空港</p> <p>安全の確保や騒音の軽減等環境への配慮を望む意見が数多くありました。また、空港施設の利便性向上、効果的・効率的な整備・運営、幅広い航空利用等に関する意見もありました。</p> <p>5.その他</p> <p>福岡空港の役割の重要性は増すとの意見や、福岡空港の役割の検討方法に関して意見がありました。</p>	<p>「福岡空港の現状と課題」をもとに、福岡空港に何が求められるかを整理したうえで、「地域の将来像」の実現に向けて必要な「福岡空港の役割」を提示しPIの取り組みを進めた結果、数多くの意見が寄せられました。福岡空港の役割については、広く市民等の方々に情報が伝わり、その内容についても概ねの理解が得られたのではないかと考えています。今後は、航空ネットワークの拡充や、空港容量の確保、利用者の利便性の向上、幅広い航空利用と安全・環境等への配慮といった必要となる取り組みを進めていくことが重要であると考えています。</p> <p>1.成長著しい東アジアの諸都市に対して日帰り交流できるほどの地理的優位性を活かして、福岡・九州は、グローバル化と少子高齢化が進む中でも地域の持続的な発展を目指す必要があると考えています。そのため、福岡空港の国内外航空ネットワークを充実しながら、東アジアと福岡・九州を密接に繋ぐ役割が重要であると考えています。</p> <p>2.将来の航空需要に対応し、新規路線の開設や増便に応えられる空港容量を確保するとともに、旅行目的地、利用する時間など、多様化する利用者ニーズに対応したサービスの向上が重要であると考えています。</p> <p>3.福岡がもつ陸海空が密接に連携した交通拠点機能を活かし、いつでも希望する都市へ速く・安く・快適に移動できる交通体系を確保して様々な利用者の利便性を高めていくことが重要であると考えています。</p> <p>4.安全・環境等への配慮や効率的な整備・運営による財政負担軽減と利便性向上とを両立させることが重要であると考えています。また、防災や救急活動等幅広い航空利用によって地域の自立的発展を支える役割も必要と考えています。</p> <p>5.福岡空港の役割の具体的な検討の過程については、PIレポート詳細版P57～P83に記載しています。</p>

※PIレポート詳細版については、福岡空港調査連絡調整会議のホームページ(<http://www.fukuokakuko-chosa.org/>)をご覧ください。

ステップ の区分			意見		意見に対する考え方	
	分類	件数		概要		
ステップ 2	将来の航空需要予測に関する意見	1070 件	国内総生産(GDP)や都市部の人口増加、アジアの経済発展等による交流の増加などから航空旅客が伸びるとする意見などが寄せられた一方で、人口減少の進展や少子高齢化の影響、他の交通機関との競合などから航空旅客はあまり伸びが期待できないとする意見なども寄せられました。また、GDPや人口・機材構成、交通アクセスなど需要予測の前提条件に関する意見や、今回の需要予測の精度等の意見も多く寄せられました。さらに、新北九州空港や佐賀空港による福岡空港の需給逼迫緩和効果に関する意見も寄せられるなど、数多くの意見が寄せられました。		将来の航空需要の予測については、予測の前提となる条件設定の根拠、予測手法や予測モデルの計算式等を示しながら、予測結果を提示しPIの取り組みを進めてきました。その結果、「将来の航空需要の予測」について数多くの意見をお寄せいただき、市民等の方々への十分な情報提供が行われたとともに、需要予測の前提条件や予測手法等についても、概ねの理解が得られたものと考えています。一方で予測の結果や精度の妥当性を問う意見もあり、このような意見も含めた主な意見に対する考え方については以下に示しています。今後とも需要予測で前提としたことや実際の航空需要の動向については注目していく必要があると考えています。	
			(意見の構成)			
			1. 需要予測の前提条件や予測手法に関する意見			
			①将来の経済指標の設定や旅客数との相関に関する意見	将来の経済指標の設定について、GDPの伸びは今後あまり期待できないとする意見や、GDPを複数ケース設定して極めて低い伸び率も用いており堅めの予測であるとする意見がありました。また、GDPと全国の旅行回数(生成交通量)との相関関係やGDP以外の経済指標について問う意見がありました。	①将来の航空需要の予測は、国内外の交通量推計に幅広く用いられている四段階推計法により実施しています。四段階推計法の第一段階として生成交通量(航空のみならず鉄道や自動車を含む全国の旅客数の合計)を求めると同時に、過去の人口やGDPと生成交通量との関係をもとに、将来の人口とGDPを与えることにより将来の生成交通量の予測値を求めています。過去の生成交通量については、一人あたりGDP及び人口との高い相関が認められ、今回は、この中で重相関係数が最大(0.984)となった1978年から2003年(当時最新値)を回帰期間とした場合のパラメータを採用したことで、信頼度の高い推計値が得られたものと考えています。また、将来のGDP等の設定については公的機関による将来見通しを参考にしつつ、大小幅のある3ケースを設定したことにより、経済の伸展が小幅な場合の需要予測値も示しています。(参考:PILレポート詳細版P98、P107、P135)	①将来の航空需要の予測は、国内外の交通量推計に幅広く用いられている四段階推計法により実施しています。四段階推計法の第一段階として生成交通量(航空のみならず鉄道や自動車を含む全国の旅客数の合計)を求めると同時に、過去の人口やGDPと生成交通量との関係をもとに、将来の人口とGDPを与えることにより将来の生成交通量の予測値を求めています。過去の生成交通量については、一人あたりGDP及び人口との高い相関が認められ、今回は、この中で重相関係数が最大(0.984)となった1978年から2003年(当時最新値)を回帰期間とした場合のパラメータを採用したことで、信頼度の高い推計値が得られたものと考えています。また、将来のGDP等の設定については公的機関による将来見通しを参考にしつつ、大小幅のある3ケースを設定したことにより、経済の伸展が小幅な場合の需要予測値も示しています。(参考:PILレポート詳細版P98、P107、P135)
			②将来人口、航空機材の大型化、福岡空港の容量など前提条件の設定に関する意見	日本の将来人口予測値の設定や、後期高齢者(75歳以上)の増加が航空機利用に与える影響、福岡～羽田間での航空機材の大型化の可能性などについて問う意見がありました。また、福岡空港の容量制約を前提として予測すべきとする意見もありました。	②今後増加が見込まれる後期高齢者が航空機利用に与える影響については、現時点ではこの影響の傾向や程度について将来を見通す客観的なデータが見当たらないため、今回の予測の前提条件とはしていませんが、PILレポート詳細版P110の「少子高齢化が中長距離旅行回数(生成交通量)に与える影響について」に記載しているように、200km以上の中長距離旅行回数(生成交通量)における1990年から2000年にかけての年齢階級別の推移では、各年代の中で60歳以上の方のトリップ数が最も大きな伸びを示していることが確認できました。この傾向を高齢者が増加する将来の年齢構成に当てはめた場合には、一人あたりの旅行回数がさらに増加することとなりますが、このことについても今回の予測においての適用は控えています。なお、予測の条件として用いた将来人口推計値は、公的機関による最新の予測値の中間推計を用いています。このように、予測の前提として用いる将来見通し等の条件については、客観的なデータを用いるように努めていますが、今後とも設定した前提条件の動向について注目していく必要があると考えています。	②今後増加が見込まれる後期高齢者が航空機利用に与える影響については、現時点ではこの影響の傾向や程度について将来を見通す客観的なデータが見当たらないため、今回の予測の前提条件とはしていませんが、PILレポート詳細版P110の「少子高齢化が中長距離旅行回数(生成交通量)に与える影響について」に記載しているように、200km以上の中長距離旅行回数(生成交通量)における1990年から2000年にかけての年齢階級別の推移では、各年代の中で60歳以上の方のトリップ数が最も大きな伸びを示していることが確認できました。この傾向を高齢者が増加する将来の年齢構成に当てはめた場合には、一人あたりの旅行回数がさらに増加することとなりますが、このことについても今回の予測においての適用は控えています。なお、予測の条件として用いた将来人口推計値は、公的機関による最新の予測値の中間推計を用いています。このように、予測の前提として用いる将来見通し等の条件については、客観的なデータを用いるように努めていますが、今後とも設定した前提条件の動向について注目していく必要があると考えています。
			2. 福岡空港の将来の航空需要予測の結果に関する意見			
			①GDPや都市部の人口増加が航空需要に影響を及ぼすとする意見	少子高齢化が懸念される中でも、福岡都市圏の人口は伸びることや、福岡と結ぶ路線が同様に人口が伸びる都市であること、また、今後の日本の経済成長等から、将来の航空需要は伸びるとする意見がありました。	①全国及び市町村別の人口や、GDP等の将来値については、客観的なデータを用いるように努める観点から、公的機関の見通し等を参考に設定し、将来の航空需要を予測しています。これらの動向については、今後とも実際の福岡空港の利用状況とあわせて注目していく必要があると考えています。	①全国及び市町村別の人口や、GDP等の将来値については、客観的なデータを用いるように努める観点から、公的機関の見通し等を参考に設定し、将来の航空需要を予測しています。これらの動向については、今後とも実際の福岡空港の利用状況とあわせて注目していく必要があると考えています。
			②アジアの経済発展等が航空需要に影響を及ぼすとする意見	アジア諸国の経済発展に伴い交流人口が増えることや、地理的・経済的に結びつきが強い中国等との間で、今後、ビジネスや観光での国際航空旅客が拡大していくとする意見がありました。	②今回の需要予測では、海外の経済発展については将来GDPの伸びとして反映しています。なお、アジア各国からの訪日については、査証(ビザ)発給の緩和によっても影響されるものと考えられます。(参考:PILレポート詳細版P142)	②今回の需要予測では、海外の経済発展については将来GDPの伸びとして反映しています。なお、アジア各国からの訪日については、査証(ビザ)発給の緩和によっても影響されるものと考えられます。(参考:PILレポート詳細版P142)
			③IT化や社会の成熟化が航空需要に影響を及ぼすとする意見	IT化の進展によりビジネス活動での出張が減少するあるいは増加するとの意見のほか、地方分権など地域社会の成熟により国内(地域間)での人の移動が減少するとの意見もありました。一方で、今後、経済成長が続いたとしても、日本と外国との交易関係が懸念されることとして、国際航空旅客が伸びないとする意見もありました。	③将来の航空需要は、今回の需要予測で前提としている人口の変化やGDPの伸びなどのほか、様々な社会経済状況の変化による影響を受けるものであり、今回の需要予測でも過去の社会経済の変化を客観的に分析し将来の予測に反映するよう努めていますが、客観的に把握するデータが不十分で、需要予測モデルに反映することができないものについては、定性的な考察を行っています。IT化の進展で出張が減るといったことも考えられますが、一方で交流の拡大から旅行回数は増えるという見方もあります。(参考:PILレポート詳細版P161～P164)	③将来の航空需要は、今回の需要予測で前提としている人口の変化やGDPの伸びなどのほか、様々な社会経済状況の変化による影響を受けるものであり、今回の需要予測でも過去の社会経済の変化を客観的に分析し将来の予測に反映するよう努めていますが、客観的に把握するデータが不十分で、需要予測モデルに反映することができないものについては、定性的な考察を行っています。IT化の進展で出張が減るといったことも考えられますが、一方で交流の拡大から旅行回数は増えるという見方もあります。(参考:PILレポート詳細版P161～P164)
			④原油価格高騰で運賃上昇の影響が航空需要に影響を及ぼすとする意見	近年の原油価格の高騰で航空運賃の上昇が航空需要に影響するとの意見がありました。	④一人当たり生成交通量と一人当たりGDPの間には高い相関があり、この関係を用いて需要予測を行いました。原油価格の高騰については、航空運賃のみならず経済活動全般に対して広範囲に影響を及ぼすものと考えられることから、今回の予測で設定した3ケースのGDP伸び率の中でもより低めの設定値における需要予測結果が参考になるものと考えています。	④一人当たり生成交通量と一人当たりGDPの間には高い相関があり、この関係を用いて需要予測を行いました。原油価格の高騰については、航空運賃のみならず経済活動全般に対して広範囲に影響を及ぼすものと考えられることから、今回の予測で設定した3ケースのGDP伸び率の中でもより低めの設定値における需要予測結果が参考になるものと考えています。
		⑤少子高齢化や人口減少の進展が航空需要に影響を及ぼすとする意見	少子化により今後、日本の人口が減少していることや、高齢化に伴い航空機利用が減少することなどから、将来の航空需要が伸びないとする意見がありました。	⑤将来、日本の人口は緩やかに減少していくことが見込まれていますが、福岡市や福岡都市圏の人口は当面増加していくものと考えられており、福岡空港の主要路線の相手先都道府県人口も当面増加が見込まれています。このことは、PILレポート詳細版P97にも内容を記載しております。また、少子高齢化の進展による影響については、200km以上の中長距離旅行回数(生成交通量)における1990年から2000年にかけての年齢階級別の推移では、各年代の中で60歳以上の方のトリップ数が最も大きな伸びを示していることから、この傾向を将来の年齢構成に当てはめた場合には、一人あたりの旅行回数がさらに増加することも考えられますが、今回の予測ではこのような傾向を反映していません。(参考:PILレポート詳細版P110)	⑤将来、日本の人口は緩やかに減少していくことが見込まれていますが、福岡市や福岡都市圏の人口は当面増加していくものと考えられており、福岡空港の主要路線の相手先都道府県人口も当面増加が見込まれています。このことは、PILレポート詳細版P97にも内容を記載しております。また、少子高齢化の進展による影響については、200km以上の中長距離旅行回数(生成交通量)における1990年から2000年にかけての年齢階級別の推移では、各年代の中で60歳以上の方のトリップ数が最も大きな伸びを示していることから、この傾向を将来の年齢構成に当てはめた場合には、一人あたりの旅行回数がさらに増加することも考えられますが、今回の予測ではこのような傾向を反映していません。(参考:PILレポート詳細版P110)	

※PIレポート詳細版については、福岡空港調査連絡調整会議のホームページ(<http://www.fukuokakuko-chosa.org/>)をご覧ください。

ステップ の区分	意見		意見に対する考え方		
	分類	件数			
ステップ 2			<p>⑥規制緩和等による航空サービス水準の向上が航空需要に影響を及ぼすとの意見</p> <p>航空自由化により、新規航空会社が参入することで航空需要が増大するとの意見や、航空運賃の割引などにより更なる航空需要の増加を指摘する意見などがありました。</p> <p>また、将来、航空機の小型化が進み運航頻度が増大するとの意見がある一方で、多頻度運航による現空港の空港能力不足や便数の制限を懸念する意見もありました。</p>	<p>⑥今回の需要予測では、運賃等のサービス水準については2004年時点のものとしています。将来、新規航空会社の更なる参入などで運賃の低下等が進めば、航空需要は増加することが考えられます。</p> <p>また、航空機の運航については現状における路線需要の規模と便数・機材構成の関係が将来も続くものと想定しています。航空機の運航については、将来は小型化・多頻度化するという見方もありますので、その場合は同じ旅客数でも発着回数が増加することになります。</p> <p>このような航空をめぐる状況の動向については、今後とも注目していく必要があると考えています。</p>	
			<p>⑦最近の旅客実績の動向を踏まえた観点からの意見</p> <p>近年の福岡空港の旅客数が横ばい傾向にあることや、一部の国際航空路線の運休・休止などの影響から、将来の航空旅客が伸びないとする意見がありました。</p>	<p>⑦近年、福岡空港の旅客数は横ばい傾向にありますが、この要因としては大阪、南九州路線での新幹線、高速バスとの競合、米国同時テロ等による国際旅客の一時的な低迷のほか、福岡空港の滑走路処理容量の制約による影響が考えられます。(参考:PILレポート詳細版P130)</p> <p>また、将来の航空需要の予測においては、航空と他の交通機関との競合を考慮して航空路線別の需要を2004年度の実績を起点として予測しており、近年の福岡空港の旅客数減少を踏まえた将来需要の予測としています。</p> <p>需要予測では、潜在的な航空需要について極力客観的なデータに基づき計算をしていますが、航空会社は航空需要だけでなく、国内外の航空をめぐる様々な要素(空港容量、テロ、伝染病、原油価格等)や経営状況等をも踏まえて路線の就航や廃止を判断するものであり、実際の需要は航空会社の便数設定等により増減の影響を受けるものと考えております。(参考:PILレポート詳細版P86)</p>	
			<p>⑧他空港や他の輸送機関の進展が航空需要に影響を及ぼすとする意見</p> <p>九州新幹線的全線開通や高速道路等の整備に伴う移動手段の多様化と利便性の向上から他の交通機関へ航空旅客が移るとの意見や、現空港の容量限界により他の空港へ航空旅客が移るとの意見がありました。</p>	<p>⑧九州新幹線鹿児島ルート全線開業など航空と他の交通機関との競合については需要予測上考慮しており、福岡・鹿児島路線の旅客数は大幅に減少することが見込まれる予測結果となっています。また、北部九州と他の圏域との航空分担率の予測結果を考慮しております。(参考:PILレポート詳細版P120、P131)</p> <p>今回は福岡空港の容量制約を前提としない潜在的な将来需要を予測しています。福岡空港の需給逼迫に対し、どのような対応案があるのかを考える上では、発着回数の制約を前提にするのではなく、潜在的な需要を把握することが必要と考えています。</p>	
			<p>⑨その他需要予測に関する意見</p>		
			<p>3. 新北九州空港、佐賀空港による福岡空港の需給逼迫緩和効果に関する意見</p> <p>近隣空港までの交通インフラ整備が十分ではないことから、アクセス利便性の向上は期待されず緩和効果がないとする意見がありました。一方で北九州空港や佐賀空港の容量限界を検討すべきとの意見や、その利活用について可能性の検討が十分ではないとする意見がありました。</p>	<p>3. 今回の需要予測では、新北九州空港と佐賀空港のアクセス利便性を飛躍的に向上させた場合の福岡空港の需給逼迫緩和効果を試算したところ、福岡空港の年間発着回数が0.2～0.7万回程度減少する結果となりました。この結果の評価については、「近隣空港との連携方策の検討」の中で、検討して参ります。</p> <p>また、今回の需要予測では、福岡空港の需給逼迫に対して、近隣空港の利活用を含めてどのような対応案があるのかを考える上でまずは潜在的な需要を把握することが必要と考えています。このため、福岡空港のみならず近隣空港についても発着回数の制約を前提にするのではなく、容量制約を与えずに潜在的な需要を算出しています。</p>	
			<p>4. 需要予測の精度等に関する意見</p> <p>①需要予測の精度に関する意見</p> <p>過去の需要予測結果の中には、実際と大きく乖離したケースがあったことから、現在の需要予測の精度自体の信頼性を疑問視する意見がありました。</p>	<p>①今回の需要予測は、より精度の高い需要予測を行うことを目的としてとりまとめられた「国内航空需要予測の一層の精度向上について」(国土交通省)に基づき適切に実施しているものと考えております。</p> <p>なお、需要予測は将来の社会経済について前提条件を与えて計算するものであるため前提が変わると計算結果も変わります。国内外の交通量推計に幅広く用いられている四段階推計法により実施しています。将来のGDP等の設定については公的機関による将来見通しを参考にしつつ、大小幅のある3ケースを設定したことにより、経済の伸縮が小幅な場合の需要予測値も示しています。(参考:PILレポート詳細版P92、P98)</p>	
			<p>②需要予測として提供される情報に関する意見</p> <p>福岡空港の需要予測としては、計算過程も含め丁寧な説明がなされており、また、予測に幅を持たせてあるなど慎重で堅めな予測がなされていることなどから、提供される情報が妥当とする意見がありました。一方で、提供される情報が専門的で分かりづらいとする意見や、予測結果を再現する際の具体的数字(モデル式・パラメーター)の資料について説明不足とする意見もありました。</p>	<p>②需要予測の内容については、PIとして十分な情報提供を図る観点から、その概要をまとめたPILレポートと前提条件や計算の過程などより詳しい内容についても解説等を加えながら掲載したPILレポート詳細版により提供しています。このことから、PIにおける需要予測の情報提供については、概ね適切なものと考えていますが、今後も分かりやすく内容が充実したレポートを作成するよう努めて参ります。</p>	
			<p>③その他</p> <p>CO<sub>2</sub>発生量削減など地球環境問題からの分析や、他の交通手段のエネルギー効率に関する比較調査が不十分とする意見がありました。また、他国(ヨーロッパなど)の航空事情や交通事情等の調査が不十分とする意見もありました。</p>	<p>③将来の航空需要は、今回の需要予測で前提としている人口の変化やGDPの伸びなどのほか、様々な社会経済状況の変化による影響を受けるものであり、今回の需要予測でも過去の社会経済の変化を客観的に分析し将来の予測に反映するよう努めていますが、客観的に把握するデータが不十分で、需要予測モデルに反映することができないものについては、定性的な考察を行っています。地球環境問題から1人あたりのCO<sub>2</sub>排出量の大きい自動車や航空機への利用規制がされれば、一定距離未満の旅行は鉄道等への移行が考えられます。(参考:PILレポート詳細版P161～P164)</p> <p>また、他国の航空事情等については、航空の先進地である欧米の航空旅客数とGDPの関係についての事例を見た場合では、欧米においても航空旅客数は経済成長とともに増加してきたことを確認しています。(参考:PILレポート詳細版P122)</p>	
		PIIに関する意見	284 件	<p>PIIの取り組みを評価する意見、PRの強化や催し充実などへの意見、取り組みやPILレポートが偏っているのではないかと意見、PILレポートがわかりにくいなどの意見がありました。</p> <p>(意見の構成)</p> <p>1.PIの取り組みに対する意見</p> <p>PIの取り組みを評価する意見、PRの強化への意見、PIの取り組みについて偏っているのではないかなどの意見がありました。</p> <p>2.PIの催し等に関する意見</p> <p>PIの催し充実や実施のあり方などについての意見がありました。</p> <p>3.PILレポートに対する意見</p> <p>PILレポートの内容について、興味深いとされる意見がある一方、偏っている、わかりにくいなどの意見がありました。</p> <p>4.その他</p>	<p>PIIについては、透明性、公正さを基本に実施しています。今回のPIでは、前回のステップ1でみなさんからいただいた意見等を踏まえ、広報の強化、県外(佐賀県)におけるオープンハウスの開催、英語版PILレポートの作成など、その内容を充実させたところです。今後もステップに応じて、PIを実施していくこととなりますが、その際には、みなさんからの意見を踏まえつつ進めて参りたいと考えております。</p> <p>また、PILレポートについては、わかりやすく作成することとしておりますが、内容が広範かつ専門分野にわたることから、PILレポートとりまとめにかかるデータや、参考事例などをとりまとめた詳細版を作成し、ホームページや福岡県、福岡市の情報窓口、インフォメーションコーナーに配架するなどして公開しております。今後ともみなさんの信頼を得られるよう、透明性を確保しつつ、また、わかりやすくお伝えできるよう努力して参りたいと考えております。</p>
	ステップ3 以降に関する意見	有効活用方策など現空港に関する意見	210 件	<p>現在の福岡空港の立地的優位性を評価し、現空港の有効活用を含めた現空港に関する意見がありました。</p>	<p>現空港の有効活用方策については、その実現性・効果等について今後検討して参ります。</p>
近隣空港との連携方策に関する意見		340 件	<p>新北九州空港や佐賀空港との連携の必要性や具体的な連携方策に関する意見がありました。</p>	<p>「近隣空港との連携方策の検討」の中で、その効果等について検討して参ります。</p>	
現空港での滑走路増設や新空港建設に関する意見		395 件	<p>将来の航空需要の増大を前提として、現空港での滑走路増設や新空港の建設を求める意見がありました。一方、抜本方策の必要性を疑問視する意見もありました。</p>	<p>「現空港における滑走路増設の検討」や「新空港の検討」の中で、その効果等について検討して参ります。</p>	
その他		201 件			
	合計	3888 件			

※PILレポート詳細版については、福岡空港調査連絡調整会議のホームページ(<http://www.fukuokakuko-chosa.org/>)をご覧ください。

参考－１

① 「地域の将来像と福岡空港の役割について」に寄せられたご意見

寄せられた意見数	1,344 人	寄せられた意見数(アンケートを提出いただいた方等)は、1,344 人、うち「必要な情報は十分提供されている」「必要な情報はおおむね提供されている」とされた方が6割強となっています。また、969 人の方から記述意見があり、その意見を1,352 件に分類整理しました。その概要は下表のとおりです。
必要な情報は十分提供されている	214	
必要な情報はおおむね提供されている	599	
必要な情報は十分提供されていると思わない	330	
無回答	201	

ステップ の区分	意見	
	分類	件数
ステップ 2	地域の将来像に関する意見	329 件
	(意見の構成) 1.グローバル化 107 ①アジアを中心とした国際連携の強化に関する意見 85 ②九州・福岡の様々な基盤強化に対する意見 13 ③その他 9 2.少子高齢化 20 ①少子高齢化と航空需要との関連に関する意見 7 ②生産性の向上と交流人口の拡大に対する意見 9 ③その他 4 3.地方分権 48 ①分権型社会への移行に関する意見 14 ②自立した地域社会の形成に関する意見 20 ③その他 14 4.価値観の多様化 3 ①モノの豊かさから心の豊かさへなど価値観の転換に対する意見 2 ②その他 1 5.IT化(高度情報化) 4 ①IT化と航空需要との関連に関する意見 2 ②その他 2 6.社会資本形成 39 ①財政の健全化に関する意見 7 ②高次な都市機能に関する意見 5 ③効率的かつ効果的な社会資本形成に関する意見 23 ④その他 4 7.環境重視 8 ①地球環境や資源制約に対する意見 2 ②循環型社会への対応に関する意見 1 ③その他 5 8.その他 100 ①地域の将来像全般についての意見 33 ②地域の将来像の検討方法等に関する意見 53 ③その他 14	
	福岡空港の役割に関する意見	525 件
	(意見の構成) 1.海外・全国と福岡を結び相互交流の拡大を支える空港 219 ①全国と福岡を結ぶ国内ネットワークに関する意見 18 ②アジアを中心とした海外と福岡を結ぶ国際ネットワークに関する意見 130 ③国内外の航空ネットワークの確保に関する意見 69 ④その他 2 2.サービス向上を促進し、航空需要を支える空港 59 ①増便、路線の充実など空港容量の確保に関する意見 52 ②その他 7 3.福岡の交通結節点機能を活かし、速く・安く・快適な移動を支える空港 83 ①空港アクセス利便性の必要性に関する意見 79 ②その他 4 4.地域と共存しながら、福岡・九州の自立的発展を支える空港 83 ①幅広い航空利用に関する意見 4 ②安全の確保や騒音の軽減等環境への配慮を望む意見 47 ③効果的・効率的な整備・運営に関する意見 12 ④利用者の利便性に関する意見 16 ⑤その他 4 5.その他 81 ①福岡空港の役割全般についての意見 78 ②その他 3	

ステップ の区分	意見			
	分類	件数	概要	
ステップ 2	将来の航空需要予測に関する意見	47 件	(意見の構成)	
			1. 需要予測の前提条件や予測手法に関する意見	3
			① 将来の経済指標の設定や旅客数との相関に関する意見	2
			② 将来人口、航空機材の大型化、福岡空港の容量など前提条件の設定に関する意見	1
			2. 福岡空港の将来の航空需要予測の結果に関する意見	29
			① GDPや都市部の人口増加が航空需要に影響を及ぼすとする意見	3
			② アジアの経済発展等が航空需要に影響を及ぼすとする意見	4
			③ IT化や社会の成熟化が航空需要に影響を及ぼすとする意見	1
			④ 原油価格高騰で運賃上昇の影響が航空需要に影響を及ぼすとする意見	0
			⑤ 少子高齢化や人口減少の進展が航空需要に影響を及ぼすとする意見	2
			⑥ 規制緩和等による航空サービス水準の向上が航空需要に影響を及ぼすとする意見	3
			⑦ 最近の旅客実績の動向を踏まえた観点からの意見	0
			⑧ 他空港や他の輸送機関の進展が航空需要に影響を及ぼすとする意見	3
			⑨ その他需要予測に関する意見	13
			3. 新北九州空港、佐賀空港による福岡空港の需給逼迫緩和効果に関する意見	2
			4. 需要予測の精度等に関する意見	13
			① 需要予測の精度に関する意見	4
② 需要予測として提供される情報に関する意見	2			
③ その他	7			
ステップ 2	PIに関する意見	51 件	(意見の構成)	
			1. PIの取り組みに対する意見	8
			2. PIの権し等に関する意見	1
			3. PILレポートに対する意見	39
			4. その他	3
ステップ3 以降に する意見	有効活用方策など現空港に関する意見	102 件		
	近隣空港との連携方策に関する意見	149 件		
	現空港での滑走路増設や新空港建設に関する意見	110 件		
	その他	39 件		
	合計	1352 件		

②「将来像の航空需要の予測について」に寄せられたご意見

寄せられた意見数	1,344	人	
必要な情報は十分提供されている	175		寄せられた意見数(アンケートを提出いただいた方等)は、1,344人、うち「必要な情報は提供されている」「必要な情報はおおむね提供されている」とされた方が5割を超えています。また、951人の方から記述意見があり、その意見を1,329件に分類整理しました。その概要は下表のとおりです。
必要な情報はおおむね提供されている	520	人	
十分に提供されていると思わない	403		
無回答	246		

ステップ の区分	意見	
	分類	概要
ステップ 2	地域の将来像に関する意見	32件
		(意見の構成) 1.グローバル化 10 ①アジアを中心とした国際連携の強化に関する意見 9 ②九州・福岡の様々な基盤強化に対する意見 1 ③その他 0 2.少子高齢化 4 ①少子高齢化と航空需要との関連に関する意見 2 ②生産性の向上と交流人口の拡大に対する意見 2 ③その他 0 3.地方分権 4 ①分権型社会への移行に関する意見 2 ②自立した地域社会の形成に関する意見 2 ③その他 0 4.価値観の多様化 3 ①モノの豊かさから心の豊かさへなど価値観の転換に対する意見 2 ②その他 1 5.IT化(高度情報化) 1 ①IT化と航空需要との関連に関する意見 1 ②その他 0 6.社会資本形成 2 ①財政の健全化に関する意見 1 ②高次な都市機能に関する意見 0 ③効率的かつ効果的な社会資本形成に関する意見 1 ④その他 0 7.環境重視 2 ①地球環境や資源制約に対する意見 2 ②循環型社会への対応に関する意見 0 ③その他 0 8.その他 6 ①地域の将来像全般についての意見 2 ②地域の将来像の検討方法等に関する意見 0 ③その他 4
	福岡空港の役割に関する意見	129件
		(意見の構成) 1.海外・全国と福岡を結び相互交流の拡大を支える空港 33 ①全国と福岡を結ぶ国内ネットワークに関する意見 4 ②アジアを中心とした海外と福岡を結ぶ国際ネットワークに関する意見 23 ③国内外の航空ネットワークの確保に関する意見 5 ④その他 1 2.サービス向上を促進し、航空需要を支える空港 45 ①増便、路線の充実など空港容量の確保に関する意見 33 ②その他 12 3.福岡の交通結節点機能を活かし、速く・安く・快適な移動を支える空港 11 ①空港アクセス利便性の必要性に関する意見 8 ②その他 3 4.地域と共存しながら、福岡・九州の自立的発展を支える空港 30 ①幅広い航空利用に関する意見 0 ②安全の確保や騒音の軽減等環境への配慮を望む意見 19 ③効果的・効率的な整備・運営に関する意見 2 ④利用者の利便性に関する意見 8 ⑤その他 1 5.その他 10 ①福岡空港の役割全般についての意見 3 ②その他 7

ステップ の区分	意見		
	分類	概要	
ステップ 2	将来の航空需要予測に関する意見	863 件	(意見の構成)
		1. 需要予測の前提条件や予測手法に関する意見	66
		① 将来の経済指標の設定や旅客数との相関に関する意見	39
		② 将来人口、航空機材の大型化、福岡空港の容量など前提条件の設定に関する意見	27
		2. 福岡空港の将来の航空需要予測の結果に関する意見	554
		① GDPや都市部の人口増加が航空需要に影響を及ぼすとする意見	39
		② アジアの経済発展等が航空需要に影響を及ぼすとする意見	89
		③ IT化や社会の成熟化が航空需要に影響を及ぼすとする意見	17
		④ 原油価格高騰で運賃上昇の影響が航空需要に影響を及ぼすとする意見	15
		⑤ 少子高齢化や人口減少の進展が航空需要に影響を及ぼすとする意見	82
		⑥ 規制緩和等による航空サービス水準の向上が航空需要に影響を及ぼすとする意見	41
		⑦ 最近の旅客実績の動向を踏まえた観点からの意見	30
		⑧ 他空港や他の輸送機関の進展が航空需要に影響を及ぼすとする意見	40
		⑨ その他需要予測に関する意見	201
3. 新北九州空港、佐賀空港による福岡空港の需給逼迫緩和効果に関する意見	23		
4. 需要予測の精度等に関する意見	220		
① 需要予測の精度に関する意見	53		
② 需要予測として提供される情報に関する意見	88		
③ その他	79		
ステップ3 以降に関する意見	PIIに関する意見	43 件	(意見の構成)
		1. PIIの取り組みに対する意見	4
		2. PIIの権し等に関する意見	2
		3. PIIレポートに対する意見	34
		4. その他	3
ステップ3 以降に関する意見	有効活用方策など現空港に関する意見	16 件	
	近隣空港との連携方策に関する意見	91 件	
	現空港での滑走路増設や新空港建設に関する意見	83 件	
	その他	72 件	
合計		1329 件	



③その他のご意見や感想について

(意見記入はがき等の「その他」及び説明会等での発言により寄せられた意見)

ステップ の区分	意見		
	分類	件数	概要
ステップ 2	地域の将来像に関する意見	74 件	<p>(意見の構成)</p> <p>1.グローバル化 18</p> <p>①アジアを中心とした国際連携の強化に関する意見 10</p> <p>②九州・福岡の様々な基盤強化に対する意見 3</p> <p>③その他 5</p> <p>2.少子高齢化 7</p> <p>①少子高齢化と航空需要との関連に関する意見 0</p> <p>②生産性の向上と交流人口の拡大に対する意見 4</p> <p>③その他 3</p> <p>3.地方分権 10</p> <p>①分権型社会への移行に関する意見 5</p> <p>②自立した地域社会の形成に関する意見 4</p> <p>③その他 1</p> <p>4.価値観の多様化 0</p> <p>①モノの豊かさから心の豊かさへなど価値観の転換に対する意見 0</p> <p>②その他 0</p> <p>5.IT化(高度情報化) 1</p> <p>①IT化と航空需要との関連に関する意見 0</p> <p>②その他 1</p> <p>6.社会資本形成 14</p> <p>①財政の健全化に関する意見 7</p> <p>②高次な都市機能に関する意見 2</p> <p>③効率的かつ効果的な社会資本形成に関する意見 3</p> <p>④その他 2</p> <p>7.環境重視 8</p> <p>①地球環境や資源制約に対する意見 6</p> <p>②循環型社会への対応に関する意見 1</p> <p>③その他 1</p> <p>8.その他 16</p> <p>①地域の将来像全般についての意見 8</p> <p>②地域の将来像の検討方法等に関する意見 4</p> <p>③その他 4</p>
	福岡空港の役割に関する意見	299 件	<p>(意見の構成)</p> <p>1.海外・全国と福岡を結び相互交流の拡大を支える空港 34</p> <p>①全国と福岡を結ぶ国内ネットワークに関する意見 3</p> <p>②アジアを中心とした海外と福岡を結ぶ国際ネットワークに関する意見 23</p> <p>③国内外の航空ネットワークの確保に関する意見 8</p> <p>④その他 0</p> <p>2.サービス向上を促進し、航空需要を支える空港 38</p> <p>①増便、路線の充実など空港容量の確保に関する意見 25</p> <p>②その他 13</p> <p>3.福岡の交通結節点機能を活かし、速く・安く・快適な移動を支える空港 58</p> <p>①空港アクセス利便性の必要性に関する意見 54</p> <p>②その他 4</p> <p>4.地域と共存しながら、福岡・九州の自立的発展を支える空港 145</p> <p>①幅広い航空利用に関する意見 4</p> <p>②安全の確保や騒音の軽減等環境への配慮を望む意見 77</p> <p>③効果的・効率的な整備・運営に関する意見 9</p> <p>④利用者の利便性に関する意見 49</p> <p>⑤その他 6</p> <p>5.その他 24</p> <p>①福岡空港の役割全般についての意見 23</p> <p>②その他 1</p>

ステップ の区分	意見			
	分類	件数	概要	
ステップ 2	将来の航空需要予測に関する意見	160 件	(意見の構成)	
			1.需要予測の前提条件や予測手法に関する意見	35
			①将来の経済指標の設定や旅客数との相関に関する意見	20
			②将来人口、航空機材の大型化、福岡空港の容量など前提条件の設定に関する意見	15
			2.福岡空港の将来の航空需要予測の結果に関する意見	54
			①GDPや都市部の人口増加が航空需要に影響を及ぼすとする意見	1
			②アジアの経済発展等が航空需要に影響を及ぼすとする意見	6
			③IT化や社会の成熟化が航空需要に影響を及ぼすとする意見	3
			④原油価格高騰で運賃上昇の影響が航空需要に影響を及ぼすとする意見	2
			⑤少子高齢化や人口減少の進展が航空需要に影響を及ぼすとする意見	15
			⑥規制緩和等による航空サービス水準の向上が航空需要に影響を及ぼすとする意見	3
			⑦最近の旅客実績の動向を踏まえた観点からの意見	3
			⑧他空港や他の輸送機関の進展が航空需要に影響を及ぼすとする意見	5
			⑨その他需要予測に関する意見	16
			3.新北九州空港、佐賀空港による福岡空港の需給逼迫緩和効果に関する意見	6
			4.需要予測の精度等に関する意見	65
①需要予測の精度に関する意見	9			
②需要予測として提供される情報に関する意見	14			
③その他	42			
ステップ 2	PIIに関する意見	190 件	(意見の構成)	
			1.PIの取り組みに対する意見	73
			2.PIの催し等に関する意見	34
			3.PILレポートに対する意見	66
			4.その他	17
ステップ3 以降に 関する 意見	有効活用方策など現空港に関する意見	92 件		
	近隣空港との連携方策に関する意見	100 件		
	現空港での滑走路増設や新空港建設に関する意見	202 件		
	その他	90 件		
合計		1207 件		

(参考) 意見記入はがき

1008788  
306

東京都千代田区大手町2-3-6  
三菱総研ビル1F MBE-177号

**福岡空港の総合的な調査  
P I レポート(ステップ2)に  
関する意見募集事務局 行**

|||||  
1 0 0 8 7 8 8 3 0 6

---

このまま、ポストに投函できます。

**Q1** 今回のP I (ステップ2)が行われていることをどのような形でお知りになりましたか。(複数回答可)

P I レポートの街頭配布  配布チラシ・ポスター  テレビニュース  新聞  雑誌  
 ラジオCM・ニュース  ホームページ  インフォメーション・コーナー  
 オープンハウス  福岡空港調査連絡調整会議ニュース  
 行政の広報誌(福岡県だより、市政だより等)  馬場の人などからの伝聞(口コミ)  
 その他( )

**Q2** P I レポートの文章や図表など表現の分かり易さやイベントの印象についてお尋ねします。

①どのレポートをお読みになりましたか。  P I レポート (今回提供の冊子: 18頁)  
 P I レポート詳細版 (ホームページなどで公開)

②P I レポートは分かり易かったですか。  分かり易かった  普通  分かりにくかった

③参加した催しは何ですか。(複数回答可)  空港見学会  シンポジウム  説明会  懇談会  
 オープンハウス  インフォメーション・コーナー  
 パネル展示(大学)  グループヒアリング  
 その他(個別説明等)  なし

④参加した催しの印象はいかがでしたか。  満足  ほぼ満足  普通  やや不満  不満  
(催しに参加した経験がある方のみ回答)

**Q3** 貴方ご自身のことについてお教えてください。

住所	都・道・府・県	市・郡	区・町・村
性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	年齢	<input type="checkbox"/> 20歳未満 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70歳以上
職業	<input type="checkbox"/> 会社役員 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 農林水産業 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 自由業 <input type="checkbox"/> 専業主婦 <input type="checkbox"/> 派遣社員 <input type="checkbox"/> 学生・生徒 <input type="checkbox"/> 無職 <input type="checkbox"/> その他( )		
福岡空港から航空機を利用して仕事や観光などに、どの程度お出かけになりますか。(最近の状況で結構です)	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 数年に1~2回程度 <input type="checkbox"/> 年に5回未満(2往復程度以下) <input type="checkbox"/> 年に15回未満(3~7往復程度) <input type="checkbox"/> 年に30回未満(8~14往復程度) <input type="checkbox"/> 年に30回以上(15往復以上)		

**引き続き裏面もご記入ください**

表

**Q3** 今回のP I (ステップ2)では「地域の将来像と福岡空港の役割」及び「将来の航空需要の予測」の情報を提供させていただいております。このP I レポートの内容について、ぜひ、ご意見をお聞かせ下さい。

①地域の将来像と福岡空港の役割について

②将来の航空需要の予測について

③その他

**Q3** ご提供したP I レポートについて必要な情報は提供されていましたか。(回答は一つ)

①地域の将来像と福岡空港の役割について

- 必要な情報は十分提供されている。
- 必要な情報はおおむね提供されている。
- 十分に提供されていると思わない。

②将来の航空需要の予測について

- 必要な情報は十分提供されている。
- 必要な情報はおおむね提供されている。
- 十分に提供されていると思わない。

**Q4** 今回提供したレポートの内容について、どのように感じましたか。(回答は一つ)

- とても興味深かった。
- 興味深かった。
- 余り興味がもてなかった。
- 興味が無い。

**ご意見、ありがとうございました**

裏

## ご意見の募集について

「福岡空港の総合的な調査に係るP I(ステップ2)に寄せられたご意見とそれに対する考え方」に対する意見について、下記のとおり募集いたします。

### ご提出の方法等

○期 間 平成18年11月1日(水)から平成18年11月14日(火)まで

### ○提出方法等

- ・ 郵送、電子メール、FAXのいずれかの方法で、「福岡空港P I」と明記のうえ、「ご意見」と皆様の「住所等」(以下)を下記要領にて記載してご提出下さい。

住所 ○○都・道・府・県 ○○市・郡 ○○区・町・村

性別 男性 女性

年齢 20歳未満 20代 30代 40代 50代 60代 70歳以上

ご職業等 会社役員 会社員 公務員 農林水産業 自営業 自由業  
専業主婦 派遣社員 学生・生徒 無職

#### 1 郵送の場合

- ・ 添付の意見提出用はがき(送料無料)をご活用ください。
- ・ なお、任意のはがき等で郵送される場合の送付先は、以下のとおりです。

国土交通省 九州地方整備局 空港PT室宛  
〒810-0074 福岡市中央区大手門 2-5-33  
国土交通省 大阪航空局 空港企画調整課宛  
〒540-8559 大阪市中央区大手前 4-1-76  
福岡県 企画振興部 空港対策局 空港計画課宛  
〒812-8577 福岡市博多区東公園 7-7  
福岡市 総務企画局 空港推進担当宛  
〒810-8620 福岡市中央区天神 1-8-1

#### 2 電子メールの場合

国土交通省 九州地方整備局 空港PT室宛 mailbox-kukopt@pa.qsr.mlit.go.jp  
福岡県 企画振興部 空港対策局 空港計画課宛 kuko2@pref.fukuoka.lg.jp  
福岡市 総務企画局 空港推進担当宛 kukosuishin.GAPB@city.fukuoka.jp

#### 3 FAXの場合

国土交通省 九州地方整備局 空港PT室宛 092-724-2480  
国土交通省 大阪航空局 空港企画調整課宛 06-6949-6218  
福岡県 企画振興部 空港対策局 空港計画課宛 092-643-3217  
福岡市 総務企画局 空港推進担当宛 092-733-5582

### ○提出された意見の取り扱い(プライバシーの保護等)について

- ・ 寄せられたご意見については、公表を予定いたします。ただし、氏名、住所、電話番号、電子メールアドレス等個人が特定できる情報については、公表及び他の目的での利用はいたしません。
- ・ 個人情報については、漏洩や滅失等がないよう厳重に管理いたします。これは、意見の集計業務を委託している(株)三菱総合研究所においても同様です。
- ・ なお、ご意見に対する個別の回答はいたしかねますので予めご了承下さい。

郵便はがき

1008788  
306

福岡空港の総合的な調査に係るP1(ステップ2)  
「寄せられたご意見とそれに対する考え方」に係る  
「意見募集事務局 行

東京都千代田区大手町2-3-6

三菱総研ビル1F MBE-312号

料金受取人払

東京中央局 認  
承 5329

差出有効期限  
平成18年12月  
31日まで

(切手を貼らずに  
お出し下さい。)



「福岡空港の総合的な調査に係るP1(ステップ2)に  
寄せられたご意見とそれに対する考え方」に係る  
ご意見募集

ご意見記入欄

.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....  
.....

住所	都・道・府・県	市・郡	区・町・村
性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	年齢	<input type="checkbox"/> 20歳未満 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70歳以上
ご職業	<input type="checkbox"/> 会社役員 <input type="checkbox"/> 会社社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 農林水産業 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 自由業 <input type="checkbox"/> 専業主婦 <input type="checkbox"/> 派遣社員 <input type="checkbox"/> 学生・生徒 <input type="checkbox"/> 無職 <input type="checkbox"/> その他( )		

[ おもて ]

[ うら ]